

業務実績報告書

提出日 令和2年1月10日

1. 職名・氏名 助教・岡田 恭子

2. 学位 学位 修士、専門分野 看護学、授与機関 福井県立大学、授与年月 平成29年3月24日

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学実習Ⅱ（2単位 毎年開講）2年次（平成27年度～）	
②内容・ねらい（自由記述） 対象の個別に即した看護を認識し、計画的に看護を実践、評価するという看護過程を展開するための基本的能力を修得する。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 初めての受け持ち実習のため、実習を円滑に行えるよう一緒に患者のケアを行ったり、病院スタッフとの調整を行った。実習中の様子、実習記録、病院スタッフからの意見などをもとに個別的な指導を行っている。	
(2)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 成人慢性看護学実習（3単位 毎年開講）3・4年次（平成27年度～） 療養生活マネジメント実習（2単位 新規開講）3年次（平成29年度～平成30年度）	
②内容・ねらい（自由記述） 臨床の場において慢性の病をもつ人、または健康を回復する途上にある人とその家族に最もふさわしい看護を提供する基礎能力を養うことを目的とし、機能障害をもちながら生活していく対象の身体的・精神的苦痛、社会的役割への影響を理解し、新たな生活の維持・拡大への援助や自己管理ができるための援助を実践する。 機能障害を持つ人とその家族の生活や生き方を尊重した退院後の生活に繋げる支援のあり方を学ぶことを目的とし、退院後の生活を視野に入れた看護を実践する。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 講義で学習した知識技術を臨床で統合して活用することで対象の理解を深め、看護を展開できるよう取り組んでいる。学生の自己課題を明確にし、病棟とのディスカッションを設けることで、病棟スタッフと学生の間をつなぐ場とし、病棟スタッフと教員が学生指導の方向性のコンセンサスを得られるようにした。	
(3)卒業研究	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（3単位）4年次（平成30年度～）	
②内容・ねらい（自由記述） 科学的思考力を養い、自ら探求する態度と研究能力の基礎を身につける。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 研究に必要な基礎的な能力が身につくよう指導した。学生が明らかにしたいと考えることを大切に、計画的に進められるよう関わった。また、主体的に行えるよう計画に沿って研究や統計に関するテキストを提示した。定期的に、困った時はいつでも支援できるよう努めた。	
(4)演習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 成人慢性看護学演習（1単位）3年次（平成27年度～）	
②内容・ねらい（自由記述） がんを含む慢性疾患を持つ人がセルフケアを促進し、その人らしい生活を送るための支援に必要な看護の知識と援助方法を学習する。また、看護問題の解決に必要な思考プロセスを養う。	

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 成人慢性看護学実習へ向けて、実習で実際に受け持つことの多い肺がんの化学療法を受ける患者看護過程の展開を行った。呼吸フィジカルの演習も取り入れ、副作用のマネジメントや患者教育などセルフケア能力を高める看護を重要視し、事例を通して学びが深められるよう工夫した。演習は個人ワークとグループワークで構成した。成人看護学教員 3 名で 3 グループ（1G6 名×2 セッション）を受け持ち、各学生の個性を把握しながら指導を行った。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 成人慢性看護学（2 単位）2 年次（令和 1 年度～）
②内容・ねらい（自由記述） がんを含む慢性疾患を持つ人がセルフケアを促進し、その人らしい生活を送るための支援に必要な看護の知識と援助方法を学修する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 放射線療法を受ける患者の看護についての講義を 1 コマ担当。成人慢性看護学実習へ向けて、実習で受け持つことの多い肺がんの患者の事例や DVD を活用しイメージしやすいよう工夫した。
(2)非常勤講師担当科目
①担当科目名（単位数） 開講学校名
②内容・ねらい（自由記述）
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
④本学における業務との関連性（自由記述）
(3)その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①論文 （タイトル、共著者の有無（共著の場合は主たる担当箇所について）、掲載雑誌名（号数）、掲載（受理）年月日）
②著書 （タイトル、共著者の有無（共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ）、出版年、出版社名）
③学会報告等 （タイトル、報告学会（大会）名（開催年月日）、共同報告者の有無（共同報告の場合は主たる担当箇所）） A 県内介護老人保健施設の看取りケアにおける介護職との連携・協働のための看護職の実践と課題、第 37 回日本看護科学学会学術集会、平成 29 年 12 月 16・17 日
④その他の公表実績
(2)学会活動等

学会でのコメンテーター、司会活動（担当報告名、担当学会（大会）名（開催年月日））
学会での役職など（学会名）
学会・分科会の開催運営（担当学会（大会）名（開催年月日）、開催場所）
日本看護技術学会第18回学術集会 2019年9月7日 AOSSA・ハピリン
(3)研究会活動等
①その他の研究活動参加（参加研究会名、調査活動名（期間））
②その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間） 介護職員等によるたんの吸引等の研修 講師 福井県社会福祉センター、平成29年～
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）
②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時）
③その他（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
（活動内容、主たる活動場所、活動期間）

6. 大学の管理・運営

(1)役職 (副学長、部局長、学科長)
(職名、期間)
(2)委員会・チーム活動
(名称、期間) 看護学科 教職課程(養護教諭)、看護発展セミナー担当 (令和1年度)
(3)学内行事への参加
(行事名、参加日時) 入試説明会 敦賀高校担当 平成30年7月30日
(4)その他、自発的活動など
(活動名、活動内容、活動期間) 福井県立大学 2019年度前期 特別企画講座 「食べること・飲み込むこと」～誤嚥性肺炎の 予防法～(口腔ケア編) 参加 令和1年7月20日 日本看護教育学会第29回学術集会 参加 令和1年8月3日・4日 第43回日本死の臨床研究会年次大会 参加 令和1年11月3日・4日 第39回日本看護科学学会学術集会参加 令和1年11月30日